

## 第4回例会

## 一般質問から

日本共産党  
寄谷 猛 男

## 江部乙地域・東滝川地域のまちづくりについて

**質問** 小学校も中学校もない東滝川地域、中学校の統合計画が進んでいる江部乙地域は、子育て世代にとっては住みにくい地域と思われるが、今後のまちづくりについて伺う。

**答弁** 生活に必要な機能やサービスを維持していくこと、そのためにさまざまな企業・団体と連携、協力しコミュニティを活性化する必要があります。東滝川でのコンビニエンスストアの誘致活動や江部乙での駅カフェやお試し食堂なども活動の幅を広げ地域の活力となっていくものと認識しています。地域を限らず住民の皆さんの思いには積極的にサポートさせていただき魅力ある地域づくりに向けて連携を図っていきます。

## 幼児教育・保育の無償化による保護者負担について

**質問** 10月から実施された幼児教育・保育の無償化に伴う保護者負担への影響について伺う。

**答弁** 無償化の対象となった費用は各施設の利用料であり、通園送迎費や延長保育の利用料などは無償化の対象ではありません。保育所における副食費は従来利用料の一部として徴収してきましたが、無償化の実施に伴い利用料とは区別し、副食費として徴収することになります。

**質問** これまでは市独自の保育料負担軽減事業により国の定める基準の保育料から一律10%軽減され、副食費も軽減の対象であった。しかし、無償化の対象から外れ独自軽減の適用がなくなれば副食費の負担額は増えることになる。

砂川市では、独自の負担軽減を行っているが、市の考えを伺う。  
**答弁** 施設利用の有無に関わらず食事は材料費として在宅であってもかかると認識し、現在のところ本市において副食費の減免を行う考えはありません。

会派みどり  
木下八重子

## 学校のいじめ問題について

**質問** 近年、全国的に学校のいじめが大変な問題になっている。

本市の小・中学校のいじめの状況について、把握している件数や原因などについて伺う。

また、いじめの防止策としてどのような対策を行っているのか、取り組みについて伺う。

**答弁** 小・中学校のいじめの状況については、令和元年11月に行ったアンケート調査と、本人またはその保護者から直接学校へ訴えがあったものを各校に設置しているいじめ防止対策委員会において精査した結果、最終的にいじめと認知された事案は6件ありました。

いじめの態様については、「持ち物へいたずらをされる」、「仲間はずれや無視をされる」、「悪口を言われる」となっています。

すでに当該校においては再度の聞き取りを行い指導しています。また、保護者に対しても事実の

説明と指導、再発防止に向けた協力を仰いでいます。市内小・中学校においては、道徳科のほか各教科や委員会活動などの教育活動全体を通じて互いを尊重し、認め合う人間関係を構築できるよう、児童生徒へ指導しています。

また、市教育委員会では、いじめ撲滅や仲間づくりを呼びかける子どもたちの交流の場として、絆づくり成果交流会を開催するなど、子どもたちの主体的な活動成果を地域全体に広げられるよう支援しています。

さらに、滝川市いじめ問題対策連絡協議会および滝川市いじめ防止専門委員会などを設置し、各委員の皆さんから意見や助言をいただき、それをいじめの未然防止、早期発見、事案対処に向けた取り組みに生かしています。

**質問** いじめが原因で不登校になった児童生徒の有無について伺う。

**答弁** いじめが原因で不登校になった児童生徒はいます。また、保護者に対しても事実の



▲滝川市いじめ根絶シンボルマーク